

授業見学報告書

特任講師

教育学修士 橋本 琢

このほど、下記の通り授業見学に参加させていただきましたので、ご報告申し上げます。

- 1、授業テーマ 公務員試験対策講座
- 2、授業担当者 西山 祐司 講師
- 3、開催日時 令和3年1月18日(月曜日) 午後16時40分～18時10分
- 4、場 所 池袋キャンパス Zoom による開講
- 5、配布資料 「210118 判断推理類題 修正2」「判断推理第11回 確認テスト」
- 6、感 想

数的推理や判断推理といった科目は、公務員試験から縁遠かった自分には馴染みのない科目で、そういった意味では、理数系科目の苦手な学生と同じ目線での研修会の参加だったといえる。

しかしこの度、中島総長先生のご指導のもと開催された研修会に参加することで、「もしかしたら自分でもできるのでは」との実感をえることができたように思う。

「公務員試験対策講座」の受講生が日々積み重ねている努力が、試験に合格するためのものであること、そして合格という結果が、充実した経済基盤とやりがいと兼ね備えた職業へとつながること、ひいては豊かな生活の実現が可能となるということは、中島総長先生が常々仰っていることである。授業を通して幾度となく仰っていた「説明のための授業ではない、合格のための授業である」とのお言葉に底流していたのは、どうにかして学生の夢を実現させたいという総長先生の情熱であり、同時に、実際に高等学校に足を運び、現場の先生方の声を聴き、そちらの付託にも応えていこうとする総長先生の信念だったように思える。

そのための方途のひとつとして、この度の研修会でご指導くださったのは、単純明快を旨とし、一気に正解へとたどり着く解法、並びに指導方針であった。自分には取り付く島もなかった判断推理の問題を、鮮やかに正解へと導く総長先生の手さばきは単純明快で小気味よく、一切の無駄をそぎ落としたそ

の説明からは、理数系科目劣等生の自分にも「もしかしたら自分でもできるのでは」という実感が抱けた。おそらく、理数系科目に苦手意識をもっている受講生諸君も同様の感慨を抱いたに違いない、といってしまうのは失礼に過ぎるか。

ただ、授業終盤に実施している確認テストにおいて、全員が満点を獲得したという事実には、大変驚いた。それというのも平素、確認テストの全員満点という現場を目にしたことがなかったからである。そしてこの結果が、単純明快でわかりやすくを旨とする、中島総長先生のご指導の賜物であったこともまた、紛れもない事実なのである。授業を展開し、問題を解説していくその技術と、それを支えている学生への思いやりは、教育の真価に改めて目を開かせられた思いがした。

「説明のための授業ではない、合格のための授業である」。この言葉はなにより学生の将来を見据えた、学生ファーストの精神に貫かれている。＜説明＞という美名に託け自らの至らなさを韜晦し、また＜説明＞することで自己満足に陥ってしまっている教員の職業意識に釘をさす言葉として、自戒の意味を込めて改めて銘記しておきたい。